



じゅじゅう  
十  
冬

令和7年11月号

令和7年10月30日

北区立十条小学校長 栗原 愛子

〒114-0032 北区中十条3-1-6

Tel03-3908-3949 Fax03-3907-0583



## 努力は自信という名の翼を広げる

副校長 松澤 明

爽やかな秋晴れが心地よい季節となりました。先日の体育学習発表会におきましては、保護者の皆様、地域の皆様から子供たちへ温かいご声援と多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しご理解をいただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、2学期の始業式で校長が「チャレンジ」の頭文字から、子供たちに送った「ちゃんと練習すると自信がつく」という言葉は、子供たちの成長を支える上で、私たち教職員にとっても改めて大切な心構えを教えてくれるものですね。

この言葉通り、子供たち一人一人の努力が輝き、確かな自信へつながった二つの大きな行事が10月に行われました。6年生のアスレチック・チャレンジでは、目標に向かって真剣に汗を流す姿に感動を覚えました。また、体育学習発表会では、どの学年の子供たちも、練習の成果を存分に発揮し、満面の笑顔で各種目に取り組んでいました。

私は、練習に励む子供たちの姿を見て、自身の学生時代のある出来事を思い出しました。運動部に所属していましたが、練習が思うようにできなかった時期にレギュラーを決める記録会が行われました。良い結果がでないことが目に見えていたので、自信がなく、とても不安で、自分の番になる直前までトイレにこもってしまったことがあります。しかし、「不安を解消し自信をもつためには練習するしかない」と一念発起し、集中して頑張るようになりました。また、何も目標がなければ頑張ることはできません。当時の私にとって、大会出場や順位といった明確な目標があったからこそ、厳しい練習にも向き合うことができました。子供たちが発表会当日、どのように笑顔で楽しそうに、自信をもって取り組めたのは、目標をもち、毎日「ちゃんと練習した」からに他なりません。努力が自信という名の翼を広げてくれたのでしょうか。

この体育学習発表会で得た自信を、今後行われる学習発表会やスピーチコンテストといった大きな発表会はもちろんのこと、日常の学習にも活かしてほしいと願っています。漢字練習や計算練習といった基礎的な学習も、地道に「ちゃんと練習」を積み重ねることで、「できる」という自信につながり、学びをより深いものにしてくれるでしょう。そして、この自信こそが、子供たちが新たな課題に臆することなく立ち向かえるチャレンジ精神の土台となっていくと信じています。

本校では、子供たちが様々な場面で目標をもち、それに向けて「ちゃんと練習」することで、大きな自信と「生きる力」を身に付けられるよう、全職員で支援してまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、子供たちの小さな努力や成長を認め、温かい声掛けで見守っていただけますと幸いです。

### 3年生より

3学年主任

3年生になり、新しい教科として理科と社会科が増えました。

理科では春に種をまき、ホウセンカ、ヒマワリ、オクラの観察をしました。身の回りの生き物を探したり、育てたりしました。生息する環境や体のつくりを学んだことで、生き物への興味関心が高まっています。

社会科では、学校の周りの土地の様子を調べ、スーパー・マーケットに見学に行き、お店の人の工夫についてまとめました。また、国立印刷局や消防署に行き、私たちの生活を支えるために働く人について理解を深めました。

学ぶことに意欲的な3年生です。これからも「知りたい!」「やりたい!」気持ちを大切にして、学習を進めています。



### アスレチックチャレンジ

6学年主任

10月8日(水)にアスレチック・チャレンジを開催しました。当日に至るまで、子供たちは互いに切磋琢磨しながら練習に取り組みました。保護者の方や、1~5年生の応援もあり、多くの子供たちが自己ベスト記録を更新することができました。また、5人の児童が学校新記録を樹立しました。

最高学年として、他の学年にも堂々と活躍する姿をみせることができ、子供たちも大満足なアスレチック・チャレンジとなりました。仲間と励まし合い、互いに高めていった経験を様々な学習に生かせるよう指導してまいります。



### 道徳授業地区公開講座

道徳主任

北区教育委員会では、東京都教育委員会と連携し、例年「道徳授業地区公開講座」を開催しています。本校におきましては、11月8日(土)の2校時に全学年で道徳の授業、3校時に意見交換会(保護者会)を実施します。内容は、「家族愛、家庭生活の充実」に関わるもの題材としています。

学習指導要領では、「家庭は、児童にとって生活の場であり、団らんの場である」とされています。児童が家庭生活の中で、家族が互いの立場を尊重しながら家族に貢献する大切さに気付くためには、道徳授業のより一層の充実を図り、学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育を推進することが必要です。そのために、授業を公開し、意見交換会を通して、三者が共通理解を図り相互理解を深めることをねらいとして実施いたします。学校ホームページのおたよりから全学年の指導案集をご覧ください。指導案集をご参照いただき授業参観後、Google フォームによるアンケート調査にご協力ください。よろしくお願ひいたします。また、3時間目の意見交換会(保護者会)へぜひご参加ください。

### 対話タイム

対話タイム担当

月に1度、15分程度の時間を「対話タイム」として対話活動を行っています。対話を通して、相手の意見をしっかりと受け止めて聞き、自分の考えを伝えたり、考えを深めたり、新たな考えをもったりすることをねらいとしています。対話タイムの進め方として、始めにアイスブレイクを取り入れ、楽しんで活動することで、話しやすい雰囲気を作り、安心して表現できるようにしていきます。目的や内容に応じて対話の形式を2人組で行うペアトークや3人組または4人組で行っています。対話活動を行い、温かく聞き合える人間関係を築き、互いに学び合うための基礎となる力を少しずつ育んでいきたいと考えています。

# 1 1月の予定

## 生活目標 言葉遣いに気をつけましょう。